

あおぎり

6年生修学旅行に行ってきました

国会議事堂をバックに
(国会議事堂正面で)



スカイツリーをバックに
(浅草吾妻橋で)



6年生67名全員で、10月2日(火)、3日(水)に、東京へ修学旅行に行ってきました。JFEスチール(製鉄所)、八景島シーパラダイス、浅草、東京スカイツリー、国会議事堂、江戸東京博物館、東京タワーを見学しました。政治・経済・文化の中心である首都東京。子どもたちは驚きの声を上げながら、多くのことを学んでいました。特に、製鉄所では鉄鉱石から鉄が精製される過程を見ることができ、1500度に熱せられたマグマのような真っ赤な鉄は感動的でした。また、初めての東京スカイツリー。高くそびえ立ち、下から見上げるととても迫力がありました。スカイツリーの上から見た東京の夜景はとても綺麗でした。

事前学習したことを、実際に自分の目で確かめ、五感を通して感じとることができました。たくさんの思い出ができたことと思います。いつまでも大切にしてください。

10月10日(水)校長講話

校長講話で、次のようなお話をしました。

「『夢』を持つことについてお話をします。

ジム・アボット投手は、アメリカ合衆国のメジャーリーグのカリフォルニア・エンゼルス、ニューヨーク・ヤンキースなどで活躍したメジャーリーグの元投手です。左投げ左打ちの投手です。

生まれつき右手首がないというハンディキャップを抱えていましたが、『プロ野球選手になりたい』という夢を持ち、その夢に向かって努力しました。そして、プロ野球選手になり、活躍しました。

ジム・アボット投手は、生まれつき障害がありましたが、子どものとき、『プロ野球選手になりたい』という夢を持ち、その夢の実現に向けて、お父さんと一緒に練習を重ね、見事にその夢を実現しました。皆さんはどんな夢を持っていますか。

選手としてオリンピックに出たい、パティシエになってお菓子を作りたい、鉄道マ

ンになって電車を運転したい、宇宙飛行士になって宇宙に行きたい、植木屋さんになって庭を造りたい、美容師になりたい、お医者さんになりたい、サッカー選手になりたい、総理大臣になりたいなど、いろんな夢があります。皆さん一人一人が夢を持っていることと思います。

夢の実現に向けて大事なことをお話します。

第1に、夢をもつことです。

テレビで見たり、本で調べたり、インターネットで調べたり、実際に自分の目で見たり、実際に体験したりすると、『 になりたいな、是非なってみたいな』との思いがふくらんでくると思います。そして、その思いが強くなっていくと、自分の夢となります。

第2に、夢に向かって努力することです。

今からできることもあれば、すぐにはできないこともあります。でも、大切なことは、今学校で勉強していることを一生懸命にやることです。自分のものにするのです。前に話した『頭を鍛える』『心を鍛える』『体を鍛える』ことです。これらのことは、夢を実現していく上で大切なことです。

第3に、なりたい夢を持ち続けることです。

夢を持ち続けて、練習したり、勉強したりして鍛えていくことです。『夢を絶対に実現させたい』という強い願いがあると、失敗や苦勞なことも乗り越えていくことができます。

皆さん、今持っている夢を実現させ、多くの人に『夢と希望』を与える人になってください。」

10月27日(土)「ふれあいの日」終わる



そば打ち体験



和太鼓に挑戦



ニュースポーツ

10月27日(土) 64名の講師をお招きして、子どもたちと地域、保護者の方々がふれあう、体験学習

が行われました。左記写真の3講座のほか、「電子工作」「すてきな押し花」「いすをつくろう」「竹とんぼ」「フラワー・アレンジメント」「ゲートボール」「楽しいパソコン」「フラダンス」「マジックにふれよう」「囲碁に挑戦」「羊毛フェルト」「すてきな絵手紙」「七宝焼き」「箏にふれよう」「ペットボトルロケット」「ソーマキューブを作ろう」の計19講座が開催されました。

その道の専門家に教わるということで、子どもたちの目は輝き、とても意欲的に活動することができました。お家の方も、一生懸命でした。子も親もとてもいい表情でした。どの講座でも、「できた」喜びを味わうことができました。講師の皆様、お家の皆様、子どもたちに素敵な時間を与えていただき、ありがとうございました。